

令和3年度 事業報告書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

○ 事業概要

小野市シルバー人材センターは、昭和61年2月に産声をあげ、6月に社団法人加西市・小野市広域シルバー人材センターとなりました。平成17年4月1日に広域から単独の社団法人として出発し、平成24年4月1日に公益社団法人へと移行し現在に至っています。

現在、小野市における高齢化の状況は、令和4年3月末時点、60歳以上人口が16,652人、対人口比率で35.01%、高齢化率（65歳以上人口比率）は対象人口13,921人で29.27%に達しています。「人生100年時代」をむかえ、健康で働く意欲のある高齢者は年々増加する傾向にあり、当センターにおいてもこれらの人々の期待に応えるべく、その使命を果たさなければならない状況にあります。

このような中において、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令やまん延防止重点措置が実施されるなど、活動に対しての様々な制限があり、シルバー人材センターの業務への影響が懸念されるころではありましたが、会員の皆様方の感染予防の徹底などにより会員数、契約金額とも前年を上回る結果となっております。

令和3年度事業実績は、受託事業契約金額292,912,961円、派遣事業契約額28,298,254円、合計321,211,215円となっており、昨年度を0.7%上回った結果となりました。

会員数につきましては、3月末時点で602の方が入会されており、就業実人員は518人、年間就業率は86.0%となりました。

以下、令和3年度の主な事業実施状況を報告いたします。

○ 実 施 状 況

1. 広報・啓発活動の展開（公1）

（1）広報の作成・配布等

- ① 5月、9月、11月、1月区長便にて「会員募集」「シルバーサポート隊」「チップ無料配布」「夫婦会員制度」「女性限定入会説明会」「剪定スタッフ講習会」のPRチラシを全戸配布しました。
- ② 普及啓発月間（10月1日～31日）の取り組みはコロナ禍を考慮し、①のチラシを全戸配布することで普及啓発に努めた。
- ③ 小野市の広報誌令和4年3月号にシルバー情報を掲載していただきました。
- ④ 平成16年度から開設したシルバーホームページを、令和3年度も更新し、1年間を通して情報提供に努めました。
- ⑤ 広報委員会を5月13日、8月11日、1月19日の3回開催しました。
- ⑥ 会報第35号、36号、37号として「シルバーだより おの」を発刊し、会員

への配布によりシルバー情報を提供しました。

⑦ 「シルバー通信」を毎月会員に送付するとともに会員からの意見・提案を聴取するため「シルバー提案ポスト（意見箱）」を設置しました。

(2) 広報誌「シルバーだより おの」をコミセンや駅舎等の公共施設に設置し宣伝普及を行いました。

2. 高齢者の就業に関する調査及び研究（公1）

先進地シルバーの調査として、明石市シルバー人材センターへの「女性活躍への取り組み」、芦屋市シルバー人材センターへ「就業報告に関するデジタル化への取り組み」に関し、それぞれ視察を行いました。

デジタル化への取り組みとして、デジタル化推進委員会を8月13日、11月18日、1月13日の3回開催しました。

3. 会員の拡大と女性会員比率の向上（公1）

(1) 会員拡大・女性就業拡大推進員を配置し、会員増強とともに女性会員拡大を図りました。

また、女性活躍推進委員会を設置し、8月17日、10月18日、3月28日の3回開催しました。

(2) 入会説明会等の開催

平成24年11月から、会員確保の観点から入会説明会を月2回のペースで開催することとしており、本年度も継続実施し、より参加してもらいやすくするために、11月の祝日開催及び2月の女性限定の入会説明会を開催しました。本年度参加いただいた方は89人、その内、新規会員として63人の方を登録しました。

説明会は下記の内容で実施したところです。

- DVDビデオ視聴、「会員のしおり」によるシルバー人材センターの仕組みの研修
- (公社)小野市シルバー人材センターの事業概要説明
- 安全・適正就業についての研修
- 厚生労働省、全国シルバー人材センター事業協会作成の「適正就業ガイドライン」により説明

令和4年3月31日現在の会員数は602人となり、前年度同月比で13人の増となりました。平成17年度～令和3年度の間の子員の入会及び退会の動向は下表のとおりです。

区 分	会 員 数 (人)			入会者数 (人)			退会者数 (人)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
17年度末	298	137	435	27	25	52	22	20	42
18年度末	328	161	489	53	45	98	23	21	44
19年度末	358	170	528	62	28	90	32	19	51
20年度末	387	199	586	74	42	116	45	13	58
21年度末	418	217	635	89	42	131	58	24	82
22年度末	429	223	652	69	30	99	58	24	82
23年度末	408	222	630	63	40	103	84	41	125
24年度末	432	211	643	69	30	99	45	41	86
25年度末	424	214	638	50	31	81	58	28	86
26年度末	431	218	649	49	27	76	42	23	65
27年度末	410	210	620	36	22	58	57	30	87
28年度末	408	219	627	32	21	53	34	12	46
29年度末	379	190	569	49	18	67	78	47	125
30年度末	372	177	549	46	15	61	53	28	81
元年度末	377	179	556	38	24	62	33	22	55
2年度末	399	190	589	56	25	81	34	14	48
3年度末	405	197	602	42	25	67	36	18	54

令和3年度末の子員の地域別状況は下表のとおりです。

地 域 区 分	地 域 コード	会 員 数 (人)		
		男	女	計
小野 地区	0 1 0 0	45	32	77
小野東地区	0 1 1 0	90	47	137
河合 地区	0 2 0 0	52	15	67
来住 地区	0 3 0 0	36	20	56
市場 地区	0 3 1 0	75	26	101
大部 地区	0 4 0 0	41	25	66
下東条地区	0 5 0 0	62	28	90
市 外	0 6 0 0	4	4	8
計		405	197	602

- (3) ハローワーク西脇における臨時相談窓口を月に1回開設し、会員拡大に努めました。
- (4) 窓口来訪者に対しては、シルバー通信を掲示するなどにより雇用情報の提供に努めました。
- (5) 未就業会員を対象とした就業相談会の開催までは至っていないが、会員状況の調査を実施するなど状況把握に努めました。

(6) 市の高齢介護課や市民サービス課等との連携により、区長便全戸配布や広報への掲載を通じ会員拡大に努めました。

(7) 令和3年10月の会費規則改正により、夫婦会員としての新規加入は9名、又、特定会員の認定は、24名となり、会員の拡大及び退会抑制に努めました。

4. 就業機会（雇用によるものを除く）の確保及び拡大（公1）

(1) 事業実績の概要（受託事業）

- ① 会員数 602人
- ② 就業実人員 486人
- ③ 就業延人員 59,350人日
- ④ 受注件数 2,089件
- ⑤ 契約金額 292,912,961円
- ⑥ 配分金 247,701,726円（会員1人当平均額509,674円）

(2) 事業実績の職種別内訳（受託事業）

区 分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
技 術	経理事務等	2	86	353,481
技 能	剪定・大工・塗装等	921	4,311	39,137,809
事 務	筆耕・事務整理	20	53	210,339
管理・監視	施設管理等	24	10,150	50,208,914
折衝外交	配達・集金・文書配布等	2	175	800,470
一般作業	軽作業・補助作業・除草等	988	42,879	196,893,433
サービス	家事援助・社会活動等	132	1,696	5,308,515
合 計		2,089	59,350	292,912,961

(3) 事業実績の公共・民間別内訳（受託事業）

区 分	内 容	受注 件数	延人員 (人日)	契約金額 (円)
公共事業	施設管理・清掃等	95	9,985	47,943,394
民間	企業・家庭	1,992	49,219	244,166,356
	独自事業	2	146	803,211
合 計		2,089	59,350	292,912,961

(4) 事業実績の動向（受託事業・平成28年度～令和3年度）

区 分	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
会 員 数 (人)	627	569	549	556	589	602
就業実人員 (人)	533	520	504	475	480	486
就業延人員 (人日)	65,666	63,331	60,922	57,803	58,260	59,350
受注 件数 (件)	1,996	1,881	2,099	2,001	1,991	2,089
契約 金額 (千円)	290,254	278,843	284,642	277,043	286,777	292,913
配 分 金 (千円)	258,196	247,088	249,535	240,605	243,229	247,702
1人当配分金 (円)	484,420	475,169	495,109	506,537	506,728	509,674

(5) 就業開拓事業の推進

就業機会拡大推進員（女性就業拡大推進員兼務）1名を配置し、年間約165日の就業開拓活動等を実施しました。主な活動内容は、シルバー広報媒体の配布を伴う市内事業所・家庭の訪問件数は2,000件、うち個別対話件数500件、新たな受注確保件数は102件（見込み件数含む。）となっています。市内におけるシルバー事業の広報宣伝にも繋がったところです。

(6) シルバーサポート隊の活動推進

高齢化の進展により、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を支える社会を率先して創るためシルバーサポート隊の活動の充実に努めました。

活動実績は、255件（令和2年度：100件）、216,510円（令和2年度：119,648円）と大きく増加しました。

5. 有料職業紹介事業の実施

令和3年度も引き続き取り組みましたが、令和3年度求人申し込みはありませんでした。

6. 会員の意識改革と能力の向上（公1）

(1) 兵庫県シルバー人材センター協会が主催する高齢者活躍人材確保育成事業として女性限定の「ときめくお洒落」講習会を共催の形で開催し、8名の参加がありました。

(2) 剪定スタッフ講習会

3月7日から9日の3日間、独自開催し、10名の参加がありました。

(3) 草刈り作業等の講習会

新型コロナウイルス感染防止を考慮し中止としました。

7. 安全就業の徹底・適正就業の推進（公1）

① 令和3年度安全・適正就業委員会を8月27日、9月24日、2月16日、の3回開催

- ・安全適正就業推進活動計画の策定
- ・全シ協、兵シ協、小野市SCの事故状況の把握と対策協議
- ・安全パトロール状況の把握と対策協議

② 安全・適正就業パトロール

- ・安全パトロール、9月24日実施

草刈り、剪定、現場をパトロールし、安全グッズの着用状況等を確認し、危険な状況に対しては会員から意見を聴くなど安全作業の実施を依頼した。

- ・厚生労働省・全シ協が作成した「適正就業ガイドライン」を説明し適正就業を推進しました。

③ 草刈班、剪定班、草引き班の打合せ会の開催と協議の実施

- ・新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

④ 安全グッズの整備

- ・法改正に伴う「安全带」から「墜落防止用器具」の使用の義務化に伴う安全グ

ツズとして「墜落防止用器具」を整備した。

・虫刺され対応蜂スプレーを常備し、剪定・草刈り就業に備えるとともに、蜂毒吸引器の購入の半額助成を実施し、8名の申込がありました。

⑤ シルバーリーダースクール（交通安全講習会・11月26日開催）への参加

小野市交通安全協会が主催する講習会へ参加する形で、会員の令和3年度交通安全講習会を開催。小野自動車教習所において、座学研修は高齢者の事故実態、道路交通法の改正など、実車研修では、教官同乗のもとコースを試走し採点していただきました。

当日はコロナ禍のため規模を縮小、参加会員は15名でした。参加会員一同、地域において高齢者に対する積極的な交通安全啓発活動に努めたいと、決意を新たにしたところです。

⑥ 安全・適正就業推進員の配置

令和3年度も引続いて安全・適正就業推進員を配置し、安全・適正就業対策を推進しました。また、「安全就業・適正就業だより」を毎月発行し注意を喚起しました。

⑦ 会員の就業の際の万一の事故や傷害、他者への損害賠償、シルバー事業の安全確保のため、令和3年度もシルバー保険に加入し、そのリスク補償に備えました。

なお、平成17年度～令和3年度の傷害事故・賠償事故等の保険事故件数等の状況は下記のとおりです。

[年次別傷害・賠償事故件数等、事案終結時でカウント]

年度	就業中	往復経路	入院日数	通院日数	身体賠償	財物賠償	動産保険
17	12	0	38	50	0	0	0
18	10	2	31	173	0	2	0
19	14	3	4	92	0	2	1
20	14	2	42	159	1	4	0
21	10	1	48	138	0	4	0
22	9	1	0	142	0	5	0
23	8	0	65	35	0	2	0
24	5	1	94	24	0	10	0
25	4	2	0	45	0	2	0
26	9	0	21	33	1	3	0
27	7	0	307	48	0	2	0
28	7	1	53	38	0	4	0
29	3	0	0	19	0	3	0
30	4	1	325	11	0	6	0
元	6	1	0	18	0	3	0
2	5	0	25	18	1	4	0
3	4	0	9	34	0	3	0

8. 派遣事業の推進（公1）

シルバー人材センターでの「適正な就業」を推進するため、平成20年5月から兵庫県シルバー人材センター協会（兵シ協）において労働者派遣事業が実施されています。当センターにおいても兵庫労働局への届出により、兵シ協の小野市事務所として平成20年12月18日から派遣事業を実施しています。

平成20年度～令和3年度の小野市事務所での派遣事業の事業実績は次表のとおりです。

（単位：人・円）

年度	受注件数	就業人員	延べ人員	賃金	手数料	消費税	契約金額	委託料
20	5	3	74	198,875	39,775	11,931	250,581	25,200
21	155	40	5,475	19,805,230	3,486,614	1,134,768	24,426,612	2,382,450
22	123	38	4,993	16,501,490	3,020,752	971,422	20,493,664	1,980,300
23	63	26	2,116	6,604,884	1,166,049	386,499	8,157,432	582,750
24	105	55	5,732	24,597,888	3,649,281	1,341,574	29,588,743	2,116,800
25	149	46	4,651	18,475,719	3,162,011	1,081,846	22,719,576	1,845,900
26	161	41	4,360	18,791,557	3,282,332	1,758,182	23,832,071	2,093,040
27	22	15	2,727	10,231,859	2,016,598	969,123	13,217,580	1,173,960
28	27	30	2,804	12,314,237	2,423,767	1,162,109	15,900,113	1,540,080
29	40	36	3,438	14,861,667	2,448,343	1,374,802	18,684,812	1,707,480
30	64	44	4,358	19,412,257	3,380,369	1,808,981	24,601,607	2,505,600
元	81	49	5,842	26,729,167	4,518,085	2,798,826	34,046,078	3,632,200
2	83	42	5,702	25,813,798	3,451,715	2,992,425	32,257,938	3,092,100
3	64	41	4,966	22,564,177	3,228,892	2,505,185	28,298,254	2,765,400

※ 受託事業と派遣事業を合わせた事業実績のまとめ

派遣事業は事業主体である兵シ協の小野市事務所としての委託事業であるため、当センターの公益法人会計の収支計算書上、当該契約金額は現れてきません。従って、受託事業と派遣事業を合わせた事業実績を下表にまとめています。

年度	契約金額			就業実人員	就業延人員
	受託事業（円）	派遣事業（円）	合計（円）		
20	352,821,675	250,581	353,072,256	539人	74,322人日
21	323,745,319	24,426,612	348,171,931	600人	74,836人日
22	291,976,749	20,493,664	312,470,413	586人	70,070人日
23	293,429,611	8,157,432	301,587,043	570人	67,374人日
24	282,918,229	29,588,743	312,506,972	598人	68,767人日
25	279,107,616	22,719,576	301,827,192	593人	67,419人日
26	284,550,906	23,832,071	308,382,977	592人	68,265人日

27	288,929,797	13,217,580	302,147,377	554 人	68,065 人日
28	290,254,127	15,900,113	306,154,240	563 人	68,470 人日
29	278,842,603	18,684,812	297,527,415	556 人	66,769 人日
30	284,641,682	24,601,607	309,243,289	548 人	65,280 人日
元	277,042,875	34,046,078	311,088,953	524 人	63,645 人日
2	286,777,265	32,257,938	319,035,203	522 人	63,962 人日
3	292,912,961	28,298,254	321,211,215	527 人	64,316 人日

9. 事務処理の集中化の推進（公1）

（公社）兵庫県シルバー人材センター協会及び兵庫県下 12 センターが共通する事務について、その処理の集中化を実施しています。しかしながら令和 4 年度から事務の取扱いが変更となるため、当センターでの対応が困難となることが想定されることから、今後の対応について協議し、次年度からの参加を見送ることとしたところです。

10. 独自事業の推進（公1）

（1）「匠の里・シルバー刃とぎ館」の開設

金物製造の街のイメージを高め、シルバー事業の地域における周知を図り、家庭用刃物の再生、匠の技を持つ会員への新たな就業機会の提供を目的に、平成 18 年 11 月から、ひまわりの丘公園内で「匠の里・シルバー刃とぎ館」を開設し、令和元年度も毎週日曜日午前 9 時から午後 1 時までの時間帯で継続事業として実施しました。本年度の事業への参加会員は、とぎと受付会員を含め 9 名でした。

令和 3 年度も、小野市くらしの会から受付管理応援事業として、延べ 7 回、14 名のスタッフのご参加をいただきました。

平成 19 年度から令和 3 年度までの事業実績は下表のとおりです。

年度区分	発注者数 (人)	発注丁数 (丁)	研ぎ料金 (円)	延べ就業 (人日)
平成 19 年度	462	1,093	600,650	163
平成 20 年度	516	1,206	657,800	160
平成 21 年度	588	1,328	712,100	160
平成 22 年度	596	1,304	685,500	153
平成 23 年度	611	1,441	768,300	160
平成 24 年度	623	1,379	725,200	184
平成 25 年度	654	1,523	807,900	165
平成 26 年度	709	1,723	926,000	163
平成 27 年度	746	1,569	841,000	161
平成 28 年度	721	1,574	846,000	154
平成 29 年度	649	1,461	776,600	159
平成 30 年度	595	1,261	683,900	154
令和元年度	642	1,400	749,350	152
令和 2 年度	707	1,511	826,100	149
令和 3 年度	663	1,458	793,320	151

(2) 剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業の取組み

当センターが受託した剪定業務にかかる当該剪定枝葉の処分については、野焼きの禁止措置、CO₂削減問題等の課題を受けての懸案事項であり、平成19年5月にはセンターの第一次中期計画における研究・検討課題として位置づけ、議論の積上げを実施してきたところですが、平成20年度における高年齢者就業機会確保事業費補助金の企画提案方式事業における「環境・教育」分野の補助事業として、「剪定枝葉チップ化・自然還元・循環型社会構築事業」が採択され、小野市当局の支援を受けて当該事業を構築することができました。しかし、平成25年度からは独自事業としての事業構築・稼働となりました。

平成20年度～令和3年度事業実績は下表のとおりです。

(車数は軽四輪トラック換算)

区分 / 年度	会員 就業 日数	延べ 就業 人日	延べ 就業 時間	破碎 発注 者	破碎 受入 車数	破碎 推定 重量	チップ 排 出 車 数	訪問チップ化事業			
								受託 件数	就業 人日	延べ 時間	概算 処理 量
								戸数	人日	時間	車数
20	25	153	795.0	50	120	18	30	※	※	※	※
21	274	635	3,939.0	383	904	136	262	20	57	219	91
22	250	551	3,497.0	364	752	113	242	9	18	13	10
23	234	514	3,455.0	436	1,036	155	256	6	12	9	8
24	207	538	3,407.5	541	867	130	236	5	10	13	5
25	197	320	2,070.5	482	674	61	108	5	8	16	5
26	102	163	1,069.0	301	409	33	100	1	2	3	1
27	170	257	1,522.5	434	584	53	115	0	0	0	0
28	175	267	1,687.5	691	912	76	105	0	0	0	0
29	195	350	2,116.5	502	940	71	126	0	0	0	0
30	222	386	2,127.5	649	1,132	75	177	0	0	0	0
元	183	349	1,982.5	689	1,154	88	161	0	0	0	0
2	177	348	1,808.0	711	1,114	85	223	0	0	0	0
3	218	408	2,044.5	774	1,097	84	158	0	0	0	0

令和3年度の上記当該チップ158車の活用排出先は、ひまわりの丘公園22車、市民の皆さんへ無料で提供した分が136車でした。

(3) おのSCカメラ部の取組み

記念写真や生前遺影写真の撮影会に取り組んでいます。シルバースタジオ内や訪問での撮影も実施しています。令和3年度は、女性限定入会説明会時の撮影会も実施しました。

11. 会員組織の整備（他 1）

地域リーダー及び地域代表会員を選出し、会員拡大を推進する体制を再構築しましたが、コロナ禍のため活動は進展していませんが、状況を見ながら活動を推進します。

12. 会員の親睦と連帯意識の高揚に繋がる事業の展開（他 1）

① 福利厚生委員会を 8 月 23 日と 3 月 17 日の 2 回開催しました。

② 会員親睦日帰り旅行は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

③ 第 11 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会の開催

11 月 17 日午後 1 時から、こだまの森・グラウンドゴルフコースにおいて、第 11 回理事長杯争奪グラウンドゴルフ大会を開催しました。

当日は、42 名の会員が技を競い合い、和気あいあいの中で会員相互の交流を深めることができました。参加者には、手芸サークル手作りの作品が贈られました。

④ 第 11 回環境保全・ボランティア活動の実施

3 月 19 日（土）午前 9 時から 10 時 30 分までの 1 時間 30 分実施しました。

・加古川左岸の「桜つつみ回廊」でのゴミ拾いに 21 名の会員

・国道 175 号線下「山田の里公園」でのゴミ拾いには 25 名の会員

合計 46 名が参加、軽四輪トラック 2 台のごみを収集をしました。

13. 中長期計画の推進（法人）

企画委員会で審議推進することとなっており、会員拡大に向けての取り組みとして会費の取扱いについて協議し、夫婦会員制度及び特定会員制度の創設に繋がりました。

14. 公益社団法人としての機関確保事業の実施（法人）

① 令和 3 年度定時総会を 5 月 24 日に開催、9 月 28 日には会費規則改正のための臨時総会を開催いたしました。

② 事業推進の要として、理事会を 7 回（4 月・5 月・7 月・8 月・10 月・1 月・3 月）開催いたしました。

③ 公益法人業務の適正化を図るため 4 月と 11 月に監査を受けました。

④ 企画委員会を 4 月 16 日、6 月 25 日、1 月 20 日の 3 回開催しました。

⑤ 「会員等の顕彰に関する規程」に基づき、会員の 10 年表彰 17 名、役員表彰 5 名を定時総会で行いました。

⑥ 兵庫県シルバー人材センター協会会長から会員が表彰されました。（会員期間 15 年 9 名、役員 4 名）

15. 事業及び会計の適正処理の実施（法人）

・公益法人会計基準に基づいた会計処理の適正実施を確保するため、公認会計士事務所の指導を受ける体制を引続き確立し、4 月 22 日、11 月 8 日、2 月 15 日に受けました。

・2 月 10 日に小野市財政援助団体監査を受けました。

16. 「シルバーワークプラザ」の活用について（公 1・法人）

会員相互の交流、研修、作業場等として、当センター事業の展開にとって必要な、「シルバーワークプラザ」で会員の絵画、手芸サークルの作品等の展示を行いました。

また、コロナ禍でありましたが会員の趣味の手芸サークルの利用や理事会、専門委員会、説明会、研修会などに会員が利活用しました。